

<b>31106 感染と防御 (微生物学)</b> Infection and Prevention(Microbiology)		2 年次～ 前期 1 単位	
担当者	藤村 茂	履修可能学科	N 必
		関連資格	看護 (N)
サブタイトル			
授業内容 ・ ねらい	感染症を引き起こす病原細菌やウイルスの特性について理解する。さらに感染症の発症メカニズムや感染症化学療法概念および診断学的な微生物検査法を学び、臨床看護に役立つ感染症の基礎知識を習得する。各論として細菌、リケッチア、ウイルス、原虫等の病原微生物の形態、感染経路、病原性などを学ぶ。また、病原微生物学を理解する上で必要な免疫による生体防御機構についてと院内感染防止に重要な消毒法や滅菌の意義についても学習する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>[1] 細菌学総論</li> <li>[2] 感染免疫学</li> <li>[3] 細菌学各論I</li> <li>[4] 細菌学各論II</li> <li>[5] ウイルス学総論</li> <li>[6] ウイルス学各論</li> <li>[7] 感染症化学療法、滅菌・消毒法</li> <li>[8] 院内感染について、および総まとめ</li> </ol>		
教科書 参考書	教) 病原微生物学「東京化学同人」 参) 戸田新細菌学「南山堂」ほか		
評価方法	試験		
事前準備学習 履修条件等	特になし		